

## 平成 29 年 3 月期第 2 四半期決算（4 月～9 月累計）説明資料

### 【当第 2 四半期業績の概要】

#### 1. 受注高

当社グループの受注高につきましては、グループの総力を挙げ受注確保に向けて営業活動を展開しましたが、前年同四半期比 15.9%減の 10,323 百万円に留まりました。

受注高の内訳について、土木事業は多様化する総合落札方式への徹底した対応の強化や連結子会社の主力事業である PC マクラギ事業に対する営業強化など、グループの総力を挙げて受注高の確保に努めましたが、上半期に予定していた大型民間契約が下半期に遅れることなどの影響があり、前年同四半期比 27.3%減の 5,937 百万円となりました。

一方、建築事業は、回復基調が継続しているマンション事業や住宅分野での耐震補強事業の営業強化に努めた結果、前年同四半期比 6.6%増の 4,123 百万円となりました。

また、不動産賃貸事業は、テナント獲得の競争激化は依然継続しているものの、事業の安定化を目指し営業活動を展開した結果、前年同四半期比 1.7%増の 239 百万円となりました。

#### 2. 売上高

当社グループの売上高につきましては、当社の繰越工事が前期に比べ 72 億円程度増加しましたが、土木事業においては、高速道路会社発注工事において、他社が起こした事故により当社が施工中の工事においても工事の一時中止指示を受けたこと、また前年度末に受注した工事の着工が遅れるなどの影響を受けたこと、建築事業においては、マンションの着工の遅れに伴い FR 板の製作に遅れが生じたことなどにより、前年同四半期比 14.9%減の 9,586 百万円に留まりました。

売上高の内訳について、土木事業 6,829 百万円（前年同四半期比 0.9%減）、建築事業 2,636 百万円（前年同四半期比 38.0%減）、不動産賃貸事業 120 百万円（前年同四半期比 2.5%増）であります。

#### 3. 損益

当社グループの損益につきましては、売上高の概要説明に記載しました理由により、当社の売上高が前年同四半期に比べ 16 億円程度減少したことなどから、営業損失 44 百万円（前年同四半期は営業利益 101 百万円）、経常損失 60 百万円（前年同四半期は経常利益 87 百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失 87 百万円（前年同四半期は純利益 57 百万円）となりました。

当第 2 四半期（4 月～9 月累計）連結業績と前年同四半期連結業績との比較 （単位：百万円）

項目	前四半期実績	当四半期実績	増減額	増減率	備考
受注高	12,272	10,323	△1,948	△15.9%	2 期振りの減少
売上高	11,263	9,586	△1,676	△14.9%	5 期振りの減収
営業利益	101	△44	△145	△143.7%	4 期振りの減益
経常利益	87	△60	△147	△169.3%	4 期振りの減益
四半期純利益	57	△87	△145	△252.2%	2 期振りの減益

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 【参考】

### ① セグメント別受注高、売上高、繰越高（連結）

#### ○前期繰越高

項目	前第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	15,799	74.9	24,652	86.9	8,853	56.0
建築事業	5,305	25.1	3,698	13.1	△ 1,606	△ 30.3
不動産賃貸事業	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	5	0.0	5	-
合計	21,105	100.0	28,357	100.0	7,251	34.4

(注)「その他」は、建設資機材のリース等であります。

#### ○受注高

項目	前第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	8,166	66.6	5,937	57.5	△ 2,229	△ 27.3
建築事業	3,868	31.5	4,123	40.0	254	6.6
不動産賃貸事業	235	1.9	239	2.3	4	1.7
その他	1	0.0	23	0.2	21	1480.7
合計	12,272	100.0	10,323	100.0	△ 1,948	△ 15.9

(注)「その他」は、建設資機材のリース等であります。

#### ○売上高

項目	前第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	6,891	61.2	6,829	71.2	△ 62	△ 0.9
建築事業	4,253	37.8	2,636	27.5	△ 1,616	△ 38.0
不動産賃貸事業	117	1.0	120	1.3	2	2.5
その他	1	0.0	0	0.0	△ 0	△ 51.0
合計	11,263	100.0	9,586	100.0	△ 1,676	△ 14.9

(注)「その他」は、建設資機材のリース等であります。

#### ○次期繰越高

項目	前第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	17,074	77.2	23,760	81.7	6,685	39.2
建築事業	4,921	22.3	5,186	17.8	264	5.4
不動産賃貸事業	117	0.5	119	0.4	1	0.9
その他	0	0.0	28	0.1	28	9,060.8
合計	22,114	100.0	29,094	100.0	6,979	31.6

(注)「その他」は、建設資機材のリース等であります。

## ② 個別業績の概要

(1) 当第2四半期（4月～9月累計）個別業績と前年同四半期個別業績との比較（単位：百万円）

項目	前四半期実績	当四半期実績	増減額	増減率	備考
受注高	11,783	9,767	△2,015	△17.1%	2期振りの減少
売上高	10,871	9,238	△1,633	△15.0%	4期振りの減収
営業利益	75	△47	△122	△162.6%	2期連続の減益
経常利益	68	△56	△125	△181.7%	2期連続の減益
四半期純利益	48	△82	△130	△270.9%	3期連続の減益

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) セグメント別受注高、売上高、繰越高（個別）

### ○前期繰越高

項目	前第2四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）		当第2四半期累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）		増減金額 百万円	対前期比 %
	金額 百万円	構成比率 %	金額 百万円	構成比率 %		
土木事業	15,798	74.9	24,652	86.9	8,854	56.0
建築事業	5,305	25.1	3,698	13.1	△1,606	△30.3
不動産賃貸事業	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	5	0.0	5	-
合計	21,104	100.0	28,357	100.0	7,253	34.4

(注) 「その他」は、建設資機材のリース等であります。

### ○受注高

項目	前第2四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）		当第2四半期累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）		増減金額 百万円	対前期比 %
	金額 百万円	構成比率 %	金額 百万円	構成比率 %		
土木事業	7,677	65.2	5,381	55.1	△2,296	△29.9
建築事業	3,868	32.8	4,123	42.2	254	6.6
不動産賃貸事業	235	2.0	239	2.5	4	1.7
その他	1	0.0	23	0.2	21	1,480.7
合計	11,783	100.0	9,767	100.0	△2,015	△17.1

(注) 「その他」は、建設資機材のリース等であります。

### ○売上高

項目	前第2四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）		当第2四半期累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）		増減金額 百万円	対前期比 %
	金額 百万円	構成比率 %	金額 百万円	構成比率 %		
土木事業	6,499	59.8	6,481	70.2	△18	△0.3
建築事業	4,253	39.1	2,636	28.5	△1,616	△38.0
不動産賃貸事業	117	1.1	120	1.3	2	2.5
その他	1	0.0	0	0.0	△0	△51.0
合計	10,871	100.0	9,238	100.0	△1,633	△15.0

(注) 「その他」は、建設資機材のリース等であります。

### ○次期繰越高

項目	前第2四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）		当第2四半期累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）		増減金額 百万円	対前期比 %
	金額 百万円	構成比率 %	金額 百万円	構成比率 %		
土木事業	16,975	77.1	23,552	81.5	6,577	38.7
建築事業	4,921	22.4	5,186	18.0	264	5.4
不動産賃貸事業	117	0.5	119	0.4	1	0.9
その他	0	0.0	28	0.1	28	9,060.8
合計	22,015	100.0	28,886	100.0	6,870	31.2

(注) 「その他」は、建設資機材のリース等であります。

## 【平成 29 年 3 月期通期の見通し】

当社グループの通期の見通しにつきましては、建設需要が増加傾向にある中、建設技術者や技能労働者の不足、それに伴う労務費の高騰など、工程の確保や工事の採算性に影響する懸念要因は解消されない状況が継続しており、予断を許さない状況にあります。

### 1. 受注高

当社グループの受注高につきましては、土木事業は多様化する総合評価落札方式への更なる対応強化や連結子会社と連携した鉄道事業への積極的な営業展開により、受注確保に努めます。また、建築事業は回復基調が継続しているマンション事業や増加が見込まれる住宅等の耐震補強事業の営業を更に強化することで、受注高は 25,300 百万円（土木事業 17,670 百万円、建築事業 7,340 百万円、不動産賃貸事業等 290 百万円）程度を見込んでおります。

### 2. 売上高

当社グループの売上高につきましては、受注工事の状況により下振れすることも考えられますが、手持工事を順調に進捗させることにより、24,810 百万円（土木事業 17,815 百万円、建築事業 6,705 百万円、不動産賃貸事業等 290 百万円）程度を見込んでおります。

### 3. 損益

当社グループの損益につきましては、手持ち工事に採算性の厳しい工事も見受けられますが、「安全・品質・コスト」の3点を重点項目として、事故や災害、品質不良による損失の排除、原価管理の徹底、施工や生産の省人化・省力化などを一層進めることで、営業利益 525 百万円、経常利益 485 百万円となり、特別利益に旧工場跡地の売却益予想額を含め、当期純利益 540 百万円程度を見込んでおります。

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想と前期実績との比較

(単位：百万円)

項目	前期実績	当期予想	増減額	増減率	備考
受注高	30,266	25,300	△4,966	△16.4%	2期振りの減少
売上高	23,014	24,810	1,795	7.8%	2期振りの増収
営業利益	624	525	△99	△15.9%	2期連続の減益
経常利益	586	485	△101	△17.3%	2期連続の減益
当期純利益	496	540	43	8.8%	3期振りの増益

## 【参考】

平成 29 年 3 月期通期個別業績予想と前期業績との比較

(単位：百万円)

項目	前期実績	当期予想	増減額	増減率	備考
受注高	29,424	24,230	△5,194	△17.7%	2期振りの減少
売上高	22,171	23,740	1,568	7.1%	2期振りの増収
営業利益	576	470	△106	△18.5%	2期連続の減益
経常利益	552	440	△112	△20.4%	2期連続の減益
当期純利益	474	500	25	5.4%	3期振りの増益